

# 一般質問発言通告書

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和3年11月25日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 1 番 佐野 淳 祥

質問事項 1	帯状疱疹ワクチン接種助成事業の導入について
具体的内容	<p>帯状疱疹の原因となる水痘ウイルスは、日本人の9割以上が持っており、80歳までに3人に1人が帯状疱疹を経験することが推定されます。さらに、50歳以上の罹患者の2割が、帯状疱疹後神経痛(PHN)を発症すると言われ、激痛が長い期間続くリスクを多くの人が抱えています。そんな中、2016年から幼児の定期接種に使われている水痘ワクチンが、50歳以上を対象に帯状疱疹予防に使用できるようになり、また、効果の高い帯状疱疹のためのワクチンが、昨年1月より国内で販売開始されました。2つとも費用は全額自己負担です。</p> <p>国立感染症研究所も報告のベースとする調査、「宮崎スタディ」では、宮崎県の帯状疱疹の15年にわたる大規模疫学調査で、多くの情報が集積されています。この調査から、わが国では1年間に約60万人に帯状疱疹の発症があることが分かるようです。名古屋市、刈谷市、文京区などは、ワクチン接種の助成をし、帯状疱疹に罹らないよう対策を講じています。</p> <p>身近でリスクの高い帯状疱疹は、ワクチンによって防げるようになっており、推奨することによって多くの市民を救えることから、以下のように質問をいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 毎年、何人の市民が、帯状疱疹に罹患すると考えられるか。</li> <li>2 帯状疱疹ワクチン接種を助成する制度は設けられないか。</li> </ol>
質問事項 2	県道沼津三島線（以下、旧道）の交通安全対策と市道への管理移管について
具体的内容	<p>市街地を横切る旧東海道は、交通量の増加から高度成長時期に広小路から新道が設置され、さらに昭和37年に国道1号線が開通しました。その名残からか、幅員の一番狭い旧道が県道となっていると推察されますが、路側帯に電柱があり、自転車や傘を差した歩行者は車道に出なければならないことや、直線道路の信号4つがほぼ同時に青に変わることから速度超過や意識が歩行者に行きにくいことなど、交通安全には構造的な不安があり、事故の頻発、そして11月3日には死亡事故もありました。よって、以下のように質問をいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 これまで旧道における安全対策の要望を踏まえて、市が県や警察へ要請した具体的内容は。</li> <li>2 旧道の重なる地点での事故の箇所と安全状況（信号、路側帯、電柱）をどう捉えているか。</li> <li>3 国道、県道、市道の管理目的の違いと管轄決定する条件は何か。</li> <li>4 笹原山中バイパス開通時に従前路線を市道へ移管したが、財源の移譲はどうされているか。</li> <li>5 市が、市民の安全を「直接」守るため、旧道（県道）を市道に移管できないか。</li> </ol>
質問事項 3	子育てと教育環境の拡充について
具体的内容	<p>発達障がいのある子の早期療育に向けて、本市も取り組みを推進していますが、安心して預けられる、安心して預かれる保育環境の充実について、以下のように質問をいたします。また、本市では7名の中学校部活動指導員が配置されていますが、再来年度から週末の部活動が原則禁止とされる中、充足には程遠い状態かと思われます。顧問が休日に自分の子の手を引き、おんぶをして生徒の部活指導をしているのが実態です。よって、「人間形成の場」である中学校部活動の活性化のための取り組みについて、以下のように質問いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 健康診査における発達に遅れがみられる乳幼児の割合と推移</li> <li>2 民間保育園における発達障がいのある子への保育状況と市の支援について</li> <li>3 部活動改革に向けての国の方針について</li> <li>4 部活動改革に向けての三島市の計画と方針について</li> <li>5 部活動改革のための検討委員会等の設置の考えは。逆算してのタイムリミットはいつか。</li> </ol>